

天の国

神の国

天国という言葉を書いて何を連想しますか。次の空白に思ったことを書いて下さい。

「天の国」という言葉は、マタイによる福音書にだ

け使われている言葉です。一般には「神の国」という言葉が使われています。マタイによる福音書は、当時のユダヤ人キリスト者を対象として書かれています。

そのために、「神」の名をみだりに呼ぶなかれといいましめを忠実に守ろうとするユダヤ人の習慣に従って、「神」という言葉のかわりに、「天」という言葉でそこに住んでいる方を表わしています。

ですから、「神の国」も「天の国」も同じ意味で使われています。しかし、旧約聖書では、「神の国」という言葉は使われていません。旧約聖書では、同じ意味

のことを、「神が王である」という言葉で表わしています。「国」という表現も、「王である」という表現も、「神の国」という言葉を充分に示していません。

### 本当のささえ

「神の国」という言葉で表わされていることは、私たちがそれなくしては生きていけないことを教えています。私たちにとって、生きていくためには本当のささえが必要なのです。本当のささえを得るためには、すべてのものを投げ売ってもかまわないと思うものです。

今の社会の中で、ある人にとってのささえはお金か  
もいれません。お金があれば何でも手に入れることができるから、なんとかして利益をあげようとしてしま  
います。しかし、お金によって買えないものがあります。  
す。自分たちが困難な時にそれに打ち勝つ勇氣は私  
たちに与えられた宝です。又、お互いに人を助け合う  
心も、私たちに与えられた宝です。

